

2023年度入試 学校説明会日程		
第1回	第2回	第3回
5/7(土) 11:00～12:00	6/4(土) 11:00～12:00	8/26(金) 19:00～20:00
第4回	第5回	第6回
9/3(土) 11:00～12:00	10/15(土) 11:00～12:00	12/9(金) 19:00～20:00
第7回		
1/14(土) 11:00～12:00		

帰国子女対象の学校説明会	
第1回	第2回
6/11(土) 11:00～12:00	11/12(土) 11:00～12:00

オープンキャンパス	
第1回	第2回
6/25(土) 10:00～12:00	11/5(土) 10:00～12:00

入試問題体験会

12/17(土) 8:30～11:00

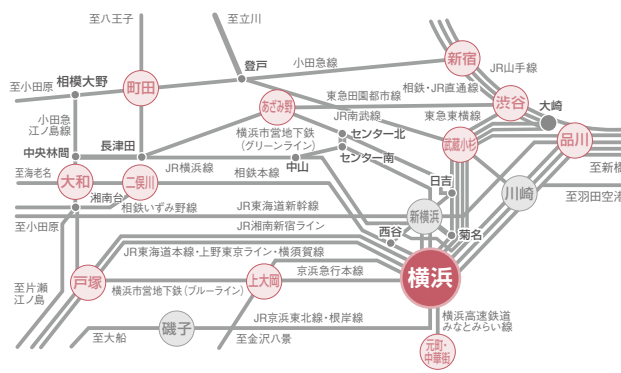
文化祭
9/24(土)・25(日) 9:00～16:00

※本校の「学校説明会」「オープンキャンパス」「入試問題体験会」「文化祭」は、すべて事前予約制となります。参加ご希望の方はお手数をお掛けいたしますが、本校ホームページよりお申込みください。

※新型コロナウイルス感染症の流行状況により、一部当初予定から変更しました。今後も上記予定を変更する場合があります。最新情報は本校ホームページをご確認ください。

神奈川学園

主要各駅から横浜駅までの所要時間



- 上大岡駅から10分
京浜急行本線利用
- 戸塚駅から13分
JR東海道本線
JR湘南新宿ライン利用
- 二俣川駅から14分
相鉄本線急行利用
- あざみ野駅から28分
横浜市営地下鉄利用
- 武蔵小杉駅から13分
JR横浜線
東急東横線特急利用
- 品川駅から17分
JR東海道本線
JR上野東京ライン利用
- 大和駅から22分
相鉄本線特急利用
- 渋谷駅から31分
東急東横線特急利用
- 元町・中華街駅から8分
横浜高速鉄道みなとみらい線利用
- 新宿駅から30分
JR湘南新宿ライン利用
- 町田駅から37分
JR横浜線利用

※所要時間は日中平常時のもので、時間帯によって多少異なります。
※待ち時間・乗り換え時間等は含まれていません。

周辺案内図



本校の最新情報やアクセスなどの詳しい情報は、右記QRコードから本校ホームページをご確認ください。



神奈川学園中学・高等学校

2023 Data Book

INDEX

P.1

神奈川学園の21世紀教育プラン

P.3

神奈川学園の6年一貫カリキュラム

P.13

神奈川学園の進学状況

P.15

Kanagawa プロジェクト

P.17

部活動

P.19

年間行事

P.21

各種データ

P.23

2023 年度入試 生徒募集要項

P.25

2022 年度入試データ



神奈川学園中学・高等学校

〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡18 TEL.045-311-2961(代) FAX.045-311-2474
https://www.kanagawa-kgs.ac.jp E-mail:kanagawa@kanagawa-kgs.ac.jp

神奈川学園の21世紀教育プラン

神奈川学園の現行カリキュラム「21世紀教育プラン」は、生徒一人ひとりの「夢」を大切にします。
「やらされる学習」ではなく、「夢」の実現のために自ら努力できる人に。
そうした一人ひとりに育つ仕組みが、「21世紀教育プラン」の中にはあります。

◎6年間の取り組み

	中 1	中 2	中 3	高 1		高 2	高 3
夢をみつける	平和 卒業生のお話 1 日研修 (第五福竜丸展示館など)	環境 小網代の森研修 流域レポート	多文化共生 横浜探検 1 日研修 (いちょう団地、東京ジャーミイなど) ホームステイシミュレーション 海外研修 (AUS、NZ)	日本の課題 国内FW (沖縄、水俣、四万十川、奈良・京都、岩手・宮城) 全体学習、方面学習 レポート作成		探究 ゼミ形式学習 外部調査、文献調査、実験など レポート作成 成果発表会	進路開拓
	PA 研修	国内英語キャンプ	海外研修 (AUS、NZ)	校内英語研修 ターム留学 (希望制)	海外研修 (希望制)		
	TGG 研修				海外合宿		
	“おひとりさま”文化祭						
	音楽会				進路講演会、職業を考える会、進路面談		
	文化祭						
講演会							
夢をささえる	2 人担任制					進路指導	
	エンカウンター						
	Diary／学習計画						
	生徒が作る学校生活、生徒会活動、部活動						
	保護者と連携 (各種通信、PTA 活動)						
安全・安心な学校 (警備、そうだん室、防災備蓄など)							
夢をかなえる	基礎の定着		基礎の完成			応用力の育成	
	アクティブラーニング、ICT、反転授業						
	クラス単位中心の授業		習熟度別授業の本格導入			週 20 時間以上の大幅選択制	
	オリジナルテキスト		コミュニケーション英語 I			ハイレベルスピーキング	土曜講座
	クラス 3 分割英会話		1 時間増			放課後自習室	
	放課後補習・夏期講習・生徒アンケート						

「夢をみつける」～Kanagawa プロジェクト



将来、どのような生き方をしていくかを常に生徒に問いかけ、生徒もまたその問いに答える中でそれぞれの夢を見出していきます。

本校カリキュラムの大きな特徴は、一人ひとりが「夢」をみつけるチャンスが数多く設けられていること。社会とつながり、国際舞台に立ち、さまざまな人と出会うプログラムである“Kanagawa プロジェクト”は、

「夢をささえる」～2 人担任制や Diary／学習計画

神奈川学園は「一人ひとりを大切にすること」をとても大事にしています。その出発点は、一人ひとりにとって学校が「安全・安心」な場になることです。中学 2 人担任制、毎日担任とやりとりをする“Diary／学習計画”、多くのクラスメイトと知り合うエンカウンター、入学間もなく足柄で行う「PA 研修」など、安心な学校生活を支える仕組みが多様にあります。

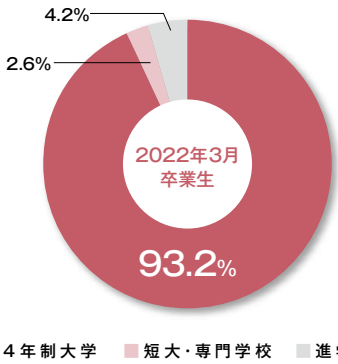


「夢をかなえる」～教科カリキュラム

「夢」の実現を最終的に後押しするのは、学習の力。本校では、週 6 日制 35 時間カリキュラムを採用。中学 1 年・2 年はクラスでの授業を主体に、中学 3 年・高校 1 年で習熟度別授業も本格導入して力を伸ばします。高校 2 年・3 年では週の 2/3 の授業を選べる大幅選択制度を採用しています。一人ひとりに必要な力を、個に即して伸ばします。

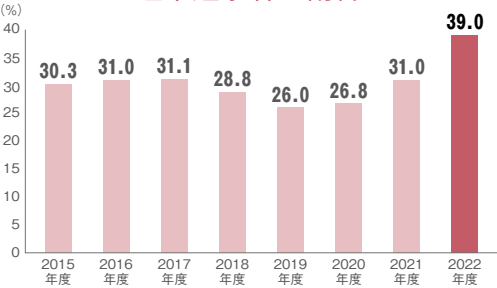


卒業生の進路状況



21 年度 (22 年 3 月) 卒業生の 4 年制大学進学率は 93.2% で、9 年続けて 9 割前後で推移しています。理系進学率は 39.0% でした。難関校の合格者は、国公立、早慶上理、GMARCH 合計 100 名でした。近年は入学定員の厳格化により、大学入試が難化しているとされる中、卒業生たちは努力で進路を切り拓いていきました。

理系進学者の割合



いじめ対策はどのようになっていますか？

問題が大きくなる前に対処するのが基本です。本校は中学時代に「2 人担任制」を採用し、「Diary」を通して、毎日やりとりをしています。このような機会を通して、担任は生徒やクラスの状況を把握していきます。何らかのトラブルがある場合には、当事者から事情を聞き、必要に応じ一人ひとり面接をし、解決を図ります。



神奈川学園の6年一貫カリキュラム

本校は、週6日制35時間のオリジナルカリキュラムを実施しています。
生徒の全人的な成長をめざし、すべての科目で文部科学省の標準時数以上の授業時間を確保しています。

◎中学3年間のカリキュラム

	中学1年	中学2年	中学3年
1	国語	国語	国語
2			
3			
4			
5	社会	社会	古典
6			
7			
8			
9	数学	数学	社会
10			
11			
12			
13	数学	数学	数学
14			
15			
16			
17	理科	理科	理科
18			
19			
20			
21	音楽	音楽	音楽 美術
22			
23			
24			
25	美術	美術	保健体育
26			
27			
28			
29	技術・家庭	技術・家庭	技術・家庭
30			
31			
32			
33	英語	英語	英語
34			
35			

※総合は国際理解教育／英会話等で実施。

◎高校3年間のカリキュラム

	高校1年	高校2年		
		文系	理系	
1	現代の国語	英語コミュニケーション		1
2				2
3				3
4				4
5	言語文化	論理・表現Ⅱ・Ⅲ		5
6				6
7				7
8				8
9	歴史総合*1 地理総合*1	情報Ⅰ*3		9
10				10
11				11
12				12
13	公共	体育		13
14				14
15				15
16				16
17	数学Ⅰ*1	保健		17
18				18
19				19
20				20
21	数学Ⅱ	日本史探究 世界史探究 地理探究 政治・経済	物理 化学 生物	21
22				22
23				23
24				24
25	数学A	古典探究	数学Ⅱ	25
26				26
27				27
28				28
29	物理基礎*1	国語特講1 数学ⅡB	理系国語	29
30				30
31				31
32				32
33	化学基礎	論理国語	数学B	33
34				34
35				35

*1：中学で一部先取り履修
*2：集中講座
*3：現在は分割履修。新課程は高2で2単位予定。

◎各種講座

授業の他に放課後、長期休みに各種の講座を実施しています。授業の理解がやや不十分な生徒のために「指名制講座」が設定され、さらに深い内容や受験に向けては「希望制講座」が設定されています。多様な講座で個々の希望に応じつつ学力を伸ばしていきます。

夏期講習（希望制講座／2022年度実施例）						
① 中学1年	② 中学2年	③ 中学3年	④ 中学1年～高校1年	⑤ 高校1年	⑥ 高校2年	⑦ 高校3年
① 数学発展問題講座 水泳	⑤ 国語（現代文・古文）模試対策講座 無言学習	⑥ 国語（現代文・古文）模試対策講座 無言学習	⑦ 国語（現代文・古文）模試対策講座 無言学習	⑧ 国語（現代文・古文）模試対策講座 無言学習	⑨ 国語（現代文・古文）模試対策講座 無言学習	⑩ 国語（現代文・古文）模試対策講座 無言学習
② 無言学習 国語 発展講座 数学標準・発展問題講座 無言学習	⑥ 英語長文読解演習講座（αクラス） 英語長文読解演習講座（βクラス） 物理問題演習講座 ハイレベル古文講座 国立理系古典講座 数学ⅡB	⑦ 英語長文読解演習講座（αクラス） 英語長文読解演習講座（βクラス） 物理問題演習講座 ハイレベル古文講座 国立理系古典講座 数学ⅡB	⑧ 英語長文読解演習講座（αクラス） 英語長文読解演習講座（βクラス） 物理問題演習講座 ハイレベル古文講座 国立理系古典講座 数学ⅡB	⑨ 英語長文読解演習講座（αクラス） 英語長文読解演習講座（βクラス） 物理問題演習講座 ハイレベル古文講座 国立理系古典講座 数学ⅡB	⑩ 英語長文読解演習講座（αクラス） 英語長文読解演習講座（βクラス） 物理問題演習講座 ハイレベル古文講座 国立理系古典講座 数学ⅡB	⑪ 英語長文読解演習講座（αクラス） 英語長文読解演習講座（βクラス） 物理問題演習講座 ハイレベル古文講座 国立理系古典講座 数学ⅡB
③ 数学発展問題講座 無言学習	⑥ 英検2級ハイスコア取得対策講座 共通テスト対策現代文講座 倫理・政治経済 物理問題演習講座 英文法実力養成講座	⑦ 英検2級ハイスコア取得対策講座 共通テスト対策現代文講座 倫理・政治経済 物理問題演習講座 英文法実力養成講座	⑧ 英検2級ハイスコア取得対策講座 共通テスト対策現代文講座 倫理・政治経済 物理問題演習講座 英文法実力養成講座	⑨ 英検2級ハイスコア取得対策講座 共通テスト対策現代文講座 倫理・政治経済 物理問題演習講座 英文法実力養成講座	⑩ 英検2級ハイスコア取得対策講座 共通テスト対策現代文講座 倫理・政治経済 物理問題演習講座 英文法実力養成講座	⑪ 英検2級ハイスコア取得対策講座 共通テスト対策現代文講座 倫理・政治経済 物理問題演習講座 英文法実力養成講座
④ 英検4級対策講座 英検3級対策講座 英検2級対策講座 古文・漢文復習講座	⑥ 英検4級対策講座 英検3級対策講座 英検2級対策講座 古文・漢文復習講座	⑦ 英検4級対策講座 英検3級対策講座 英検2級対策講座 古文・漢文復習講座	⑧ 英検4級対策講座 英検3級対策講座 英検2級対策講座 古文・漢文復習講座	⑨ 英検4級対策講座 英検3級対策講座 英検2級対策講座 古文・漢文復習講座	⑩ 英検4級対策講座 英検3級対策講座 英検2級対策講座 古文・漢文復習講座	⑪ 英検4級対策講座 英検3級対策講座 英検2級対策講座 古文・漢文復習講座

高校3年			
文系		理系	
1	英語コミュニケーション		1
2			2
3			3
4			4
5	英語応用		5
6			6
7			7
8			8
9	体育		9
10			10
11			11
12			12
13	日本史研究 世界史研究 政治・経済研究 等	化学研究 生物特講 物理特講	13
14			14
15			15
16			16
17	日本史特講 世界史特講 芸術科目 等	物理研究 生物研究 化学特講	17
18			18
19			19
20			20
21	古典研究 現代文研究	数学特講 数学ⅠA 数学ⅡB 数学Ⅲ	21
22			22
23			23
24			24
25	英語特講3 現代文特講	数学ⅠA特講4 数学Ⅲ特講	25
26			26
27			27
28			28
文系選択群・文理選択群・理系選択群			29
総合			30
HR			31
土曜講座			32
			33
			33
			34

◎カリキュラムは中・高とも2022年度予定



◎土曜講座と放課後自習室

本校のカリキュラムは、6日制35時間で編成されています。標準時間数より多く、高校1年生までに必修科目をほぼ学び終えます。高校2年生からは進路に応じた大幅選択制度で学びます。また、高校3年生のみ、土曜日はそれぞれの受験の必要性から選択する「土曜講座」を設けており、受験に向けた多様な講座設定をしています。さらに生徒の自学をサポートするために、高2・高3生に向けて放課後自習室を開室。20時まで本校に残ったの自学自習を可能にすることで、進路を見据えた生徒の学習を支えます。



✓ 勉強はたいへんですか？
塾や予備校に通う必要がありますか？

家庭学習は2時間程度必要です。「毎日2時間」というリズムに慣れるのには、多少「たいへん」かもしれませんが、宿題や予習にいていねいに取り組むと、やはり毎日2時間は家庭学習が必要です。万一、授業に遅れた場合には放課後日常補習や長期休みの補習があります。このように学校の学習が充実しているので、とくに塾や予備校に通う必要はありません。



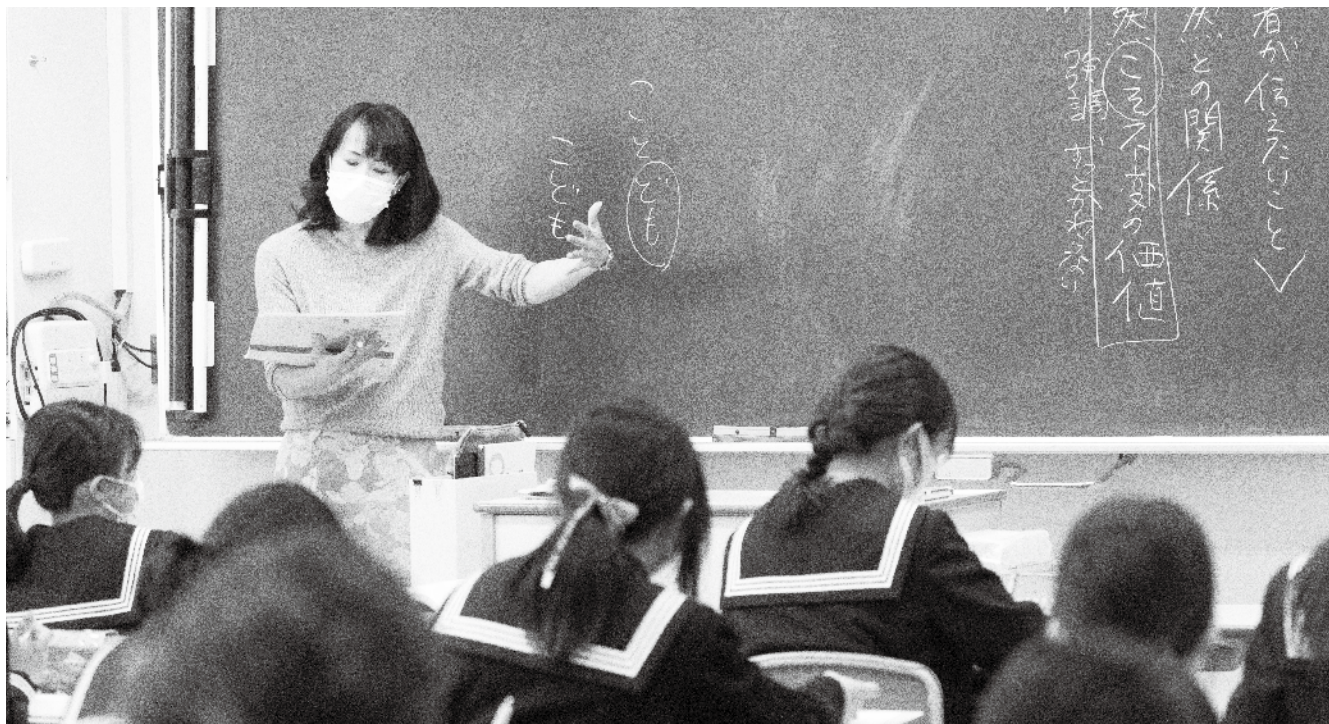
◎オンライン学習

2020年度、21年度は、新型コロナウイルスの影響で、登校を見合わせる期間がありました。その間の学習を支えたのがオンラインです。本校では一人1台のタブレット(Chromebook)を持ち、時間割に沿いながら学習を進めました。また、学習だけでなく、オンラインでのSHRやDiary、オンライン面談等も必要に応じて実施し、生徒の家庭での学習を支えました。2022年も生徒総会など全校で長時間議論をする行事は各教室をオンラインで結んで実施しています。



国語科

すべての教科の土台となる「ことば」の力を育てる国語。文章を読むことはもちろん、「話す・聞く・書く」取り組みで、総合的な力を育てます。



学 習 方 針

生きた「ことば」を身につける

各教科の土台となる「ことば」の力をつけるのが、国語の授業です。「読む」力はもちろん、グループ学習で「話す・聞く」力を、レポート作成で「書く」力をつけていきます。特に中1・中2では週5時間の授業の中でさまざまな言語活動に取り組み、課題発見と解決につながる言語能力を育てていきます。また、「まとめノート」作成をていねいに行い、自学力もつけていきます。

古典の先取り学習

中1の「竹取物語」から、古文の学習が始まります。注や資料を充実させたオリジナルテキスト「中学古典」を使用し、古文の読解に取り組んでいきます。中2の後期からは古典文法の学習が始まり、中3では週3時間の「古典」の授業が設けられています。古典に親しみつつも、古語辞典を引きながら原文で古文を読むことを大切にしています。

充実した演習科目

現代文は中学段階から高校レベルの文章の精読に取り組み、古典文法の学習は高1で一通り終えています。そのため、高2から問題演習の授業に取り組んでいくことが可能になります。習熟度別の選択授業になっているため、一人ひとりの学力に応じて無理なく問題演習に取り組んでいます。大学入試に向けた実践的な力を、2年間かけてつけていきます。

学 習 内 容

	中 1 (5時間)	中 2 (5時間)	中 3 (6時間)	高 1 (6時間)	高 2 (選択)	高 3 (選択)
	国語	国語	国語 (3時間) 古典 (3時間)	現代の国語 (3時間) 言語文化 (3時間)	論理国語 (4単位) 古典探究 (4単位) 国語特講 (2単位) 理系国語 (2単位)	現代文研究 (4単位) 古典研究 (4単位) 国語特講 (3単位) など
現代文	中学国語 漢字テスト (毎週)		高校国語			
古典	口語文法	古典文法(用言) 漢文訓読法	古典文法(助動詞)	古典文法(助詞) (敬語)		

社会科

私たちの生活している社会の構造を見抜き、より良い社会の在りようを模索する力を育てる社会。日本や世界を観る多角的な視点を育みます。



学 習 方 針

社会をとらえる基礎力を育てる

(中1・2)

最初の1年は、小学校では学べない、世界の歴史と地理の学習から、全員一緒にスタートです。みなさんの疑問や想像力を大切に、多様な資料を活用した授業を展開します。さらに「まとめノート」や「オリジナル資料集」を活用して、家庭学習の習慣を身につけていきます。2年間を通じて興味を広げ、時間と空間という社会を認識する基本を学びます。

世界で生きる力を育てる

(中3・高1)

新聞の活用などを通じて、現代社会を多角的にとらえ、世界や日本との関わりの中で自分の生き方を見出す市民としての資質を磨きます。総合学習で取り組んでいる多文化共生学習や国内FWとも連携し、世界と日本の現状と将来について、自ら問いを立てて、探究的に考える体験を教科活動にも活かします。

進路を切り拓く力を育てる

(高2・3)

大学入試で利用する自分の選択科目を中心に、しっかりと時間をかけて、深い学びを実現します。裁判の傍聴、歴史博物館の見学、地域巡検など、各科目への関心を広げる取り組みや、史料問題の演習、論述問題や各種大学入試問題の演習などを通じての実践力を磨く取り組みなど、授業を多様に展開していきます。

学 習 内 容

中 1 (4時間)	中 2 (4時間)	中 3 (4時間)	高 1 (4時間)	高 2 (選択)	高 3 (選択)
社会をとらえる基礎力を育てる		世界で生きる力を育てる		進路を切り拓く力を育てる	
世界の歴史と地理を総合的に学ぶ	日本の歴史と地理を総合的に学ぶ	多文化共生を軸に市民的資質を育成する	日本社会の現状と将来を考え、市民的資質を磨く	専門科目の基礎を学ぶ	応用力をつける
中学地理分野・歴史分野	中学歴史分野・地理分野	中学公民分野・地理分野	公共2単位 歴史総合1単位 地理総合1単位 (歴史総合、地理総合各1単位は中学で履修)	世界史探究 日本史探究 地理探究 政治・経済 地理総合研究 公共研究	世界史研究 日本史研究 地理研究 政治・経済研究 日本史特講 世界史特講 地理特講 政治・経済特講 など

論理的思考力を育む数学科。中学3年生の段階で高校の内容も学び始めるなど、無理のない先取り学習も実現しています。



學習方針

数学科の目標

数学科では6年間の授業の中で課題の構造を的確に捉える力、与えられた条件から問題解決に向けての筋道を立てる力、論理的に考え表現する力の育成をめざします。中学では、オリジナルテキストの利用により本質的な理解を促すとともに、無理のない先取りを可能にしています。高校では、数学の概念の体系的な理解をめざします。高校2年からの進路別授業では、採点者に伝わる答案を作成するための記述力も磨きます。

主体的・対話的で深い学びの実現

数学の授業では、一方的に講義を行うだけでなく、数学実験を取り入れるなど生徒が主体的になる導入や発展の工夫をしています。また、学び合いや教え合いの活動を取り入れ、数学的コミュニケーション能力の育成を行っています。授業では電子黒板を活用し、授業を効率よく展開したり、関数や図形を視覚化したりすることで理解を深めています。

社会で通用する数学力の育成

数学力の育成という視点で、中学2年からは習熟度別の授業を展開しています。 β クラスでは基礎基本の徹底的な定着をめざします。 α クラスでは基礎基本の定着に加え、応用力・思考力の習得までをめざします。また、自分の数学の力を試す機会として、数学検定の団体受検（希望制）を採用しています。これらにより、文系理系にとらわれず、「わかる楽しさ」や「数学的な発想力や思考力」を伸ばし、社会で通用する数学力の育成をめざしています。

學習內容

中 1 (5 時間)		中 2 (5 時間)		中 3 (5 時間)		高 1 (5 時間)		高 2 (選択)		高 3 (選択)	
全員必修								選択科目			
体験型の活動で、数学を楽しむ				他者に伝える活動で、深く学ぶ				答案作成力を鍛え、記述力を高める			
正負の数 文字式 1 次方程式 連立方程式 比例・反比例 不等式 平面図形 空間図形 資料の活用		式の計算 平方根 2 次方程式 関数 図形の性質と合同 三角形と四角形 相似 円		三平方の定理 標本調査 数学Ⅰ 数と式 2 次関数 図形と計量		数学Ⅰ データの分析 数学 A 場合の数と確率 図形の性質 整数の性質 数学Ⅱ 式と証明 複素数と方程式 図形と方程式		理系 数学Ⅱ 三角関数 指数関数 対数関数 微分法・積分法 数学 B 平面ベクトル 空間ベクトル 数列 数学Ⅲ 複素数平面 2 次曲線 関数 極限 微分法 微分法の応用		数学Ⅲ 積分法 積分法の応用 大学入試問題演習	

※理系は高3の1学期中に、数学Ⅲのすべての範囲は終了します。

理科

自然の仕組みや法則を理解する力をつける理科の授業。
 中学時代は徹底して「実験・観察」にこだわる「理科100実験」も本校の特色です。



學習方針

充実した実験・観察

理科では、自然と親しむことと、身近なものに興味関心を持つことを大切にしています。そのため、中学では3年間で100種類以上の実験・観察を行います。また環境学習においては、小網代の森研修(中学2年)やFW四万十川・水保(高校1年)などの行事とも連携しながら、自分の身近な問題として考えられるようなカリキュラムを実施しています。

レポート指導で科学的思考力を磨く

実験・観察の後には、レポートを作成し、教員が添削をします。実験・観察を行うと、必ずしも予想通りの結果が得られないこともあります。しかし、その原因を探り、試行錯誤をする中で新たな発見につなげることもできます。授業では優れたレポートを紹介したり、互いに評価をし合ったりすることで、科学的思考力を磨いていきます。

ていねいな専門教育

高校2年生からは自分の進路に応じて、標準時間数よりも時間をかけて学習しています。単なる受験演習にとどまることなく、専門的な実験・観察にも取り組むことで、中学3年間+高校1年間の必修科目で学習したことを土台に、さらに科学的思考力を磨き、新しい大学入試にも対応できるカリキュラムを整えています。

學習內容

中 1 (3時間)	中 2 (4時間)	中 3 (5時間)	高 1 (5時間)	高 2 (理系 7～9時間)	高 3 (理系 8～10時間)
自然や身近な現象に関心を持ち、多様な実験とレポートに取り組む		科学全般について幅広い知識と科学的思考力を身につける		専門的な実験・観察に取り組み、大学入試に向けた演習を行う	
中学生物分野 中学物理分野	中学化学分野 中学生物分野 中学地学分野	理科Ⅰ分野 (週3時間) 中学物理分野 中学化学分野 高校物理基礎	物理基礎 (1学期、週3時間) 化学基礎 (2～3学期、週3時間)	私立理系 物理・化学・生物から1科目選択 国公立理系 化学必修 物理か生物から選択	理系 (私立・国公立) 物理研究・物理特講 化学研究・化学特講 生物研究・生物特講
		理科Ⅱ分野 (週2時間) 中学地学分野 高校生物基礎	生物基礎 (通年、週2時間)	演習授業 物理基礎特講 化学基礎特講 生物基礎特講	地学基礎 土曜講座物理 土曜講座化学基礎 土曜講座生物基礎

英語科

グローバル時代に不可欠な英語。授業はもちろん、研修などの行事も効果的に組み合わせながら、力を伸ばします。検定試験にも積極的にチャレンジします。



学習方針

グローバル社会を生きる力をつける

さまざまなバックグラウンドを持つ人々が関わり合い、ともに生きるグローバル社会となった今、異文化への関心と理解を育て、自分とは違う文化や考え方も受け止めることが不可欠です。英語というツールは世界中の人との対話を可能にするグローバル社会へのパスポートとも言えます。さまざまな文化や考え方に触れて世界を知り、グローバルイシュー（地球規模の課題）について考えるきっかけとなる豊かな教材に多く触れ、自

分の考えを持ち、それを英語で伝えられる力と積極性を育てています。

英語を「使って」身につける

中学では毎日英語に触れます。ネイティブだけでなく日本人教員も英語で指示などを行い、生徒たちは毎日多くの英語に触れます。教科書“Here We Go!”をベースに英語の表現やルールを体系的に学ぶとともに、発話やコミュニケーションを伴う活動を多く取り入れて、頭の中だけの知識にとどまらず、

習った表現を体をくぐらせ、使いこなせるようにしていきます。同時に毎日出される宿題が授業とともに自学のペースメーカーとなり、きちんと取り組むことで、英語力が自然と身につくような仕組みになっています。

新しい大学入試に対応できる英語力をつける

多くの語彙や表現、英語のルールを学ぶとともに、4技能どの分野の英語スキルもバランスよく身につけます。英検を中心に、4技

能型英語資格試験の受検をサポートして、高校卒業までには、大学応募資格として認められる級やCSEスコア取得をめざし、大学入試に対応できる英語力を身につけていきます。高校1年からの習熟度別授業に始まり、高校での必修授業と多くの選択授業で、生徒一人ひとりのレベルに合わせて力をつけていきます。中学卒業までに準2級に7割以上、高校卒業までには多くの生徒が英検2級以上に合格しています。

海外研修

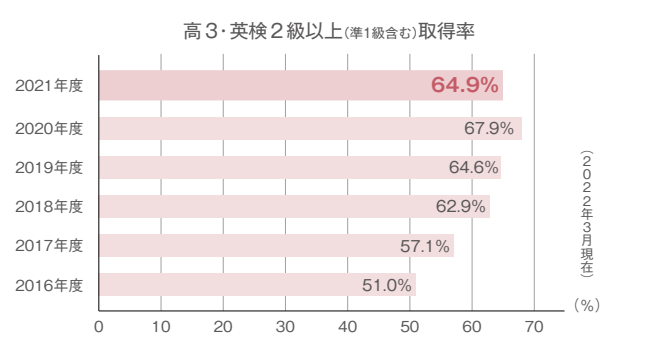
中学3年・3月に、学年全員が参加する海外研修（オーストラリア）を実施しています。ホームステイを含むこの研修を一つの目標に、中学生は英語学習に励みます。事前にホームステイシミュレーションをしたり、オリジナルアルバムを作成するなど万全な準備をして、現地に向かいます。温かな歓迎を受けた経験は、高校での英語学習へのモチベーションとなっています。



ターム留学、希望制研修

中学3年生の海外研修の前後にも多様な研修を設けています。中学では国内でネイティブの先生と英語の力を磨く1年生と、2年生の校外研修（全員参加）があります。また、高校では、1年生の3学期で実施するニュージーランドターム留学（希望制）、2年生の夏休みに行われる希望制海外研修があり、多様な形で英語の力や国際感覚を磨く機会を設けています。

英検取得率



大学入試改革により、これまで以上に進路開拓における英語の民間資格の重要度が増しています。本校では英検の取得を後押ししており、中学3年生では例年60～70%前後の生徒が準2級を取得しています。また、高校3年生は約68%が2級以上を取得しており、準1級は学年で12人が取得しました。授業の充実と放課後の英検対策講座を通してさらに取得率を伸ばしていきます。

神奈川学園の進学状況

神奈川学園は、生徒一人ひとりの進路開拓を最大限応援します。

近年着実な結果を出している卒業生たちを支えているのは、先輩たちの健闘の結果と、神奈川学園ならではの一人ひとりの進路開拓を実現に導くシステムです。

卒業生の93%が現役で4年制大学へ

2015年に90%を超えて以来、毎年90%前後で推移している4年制大学への現役進学率は、2022年3月卒業生も93.2%に上りました。本校では「特別進学クラス」のようなクラスを設けず、日々の授業と講習などを通して全員の力を伸ばしています。

理系進学率

2022年の特徴の一つは、理系進学率が39%となったことでした。本校は従来理系進学者は30%前後で、それでも「女子校としては高いですね」と言われていましたが、今年は医療系学部への進学者が増えたこともあって、大幅な伸びとなりました。

難関校への挑戦

文系も含めた難関校への挑戦も進んでいます。国公立、早慶上理も合わせたGMARCH以上の合格は、ちょうど100校となりました。前年比123%で、難関校へも着実に合格を実現しています。

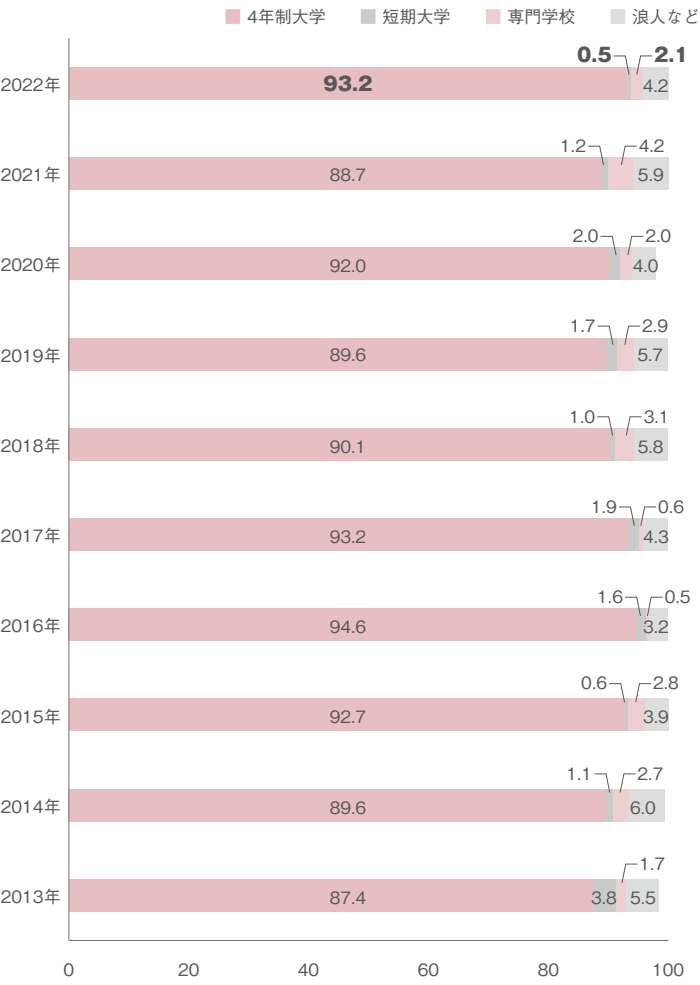
妥協しない意識作り

長く厳しい進路開拓を支え、夢を実現させる一つの原動力が教科学習だとすれば、もう一つの柱は明確な進路意識です。その気持ちを支えるのが、高1から本格化する進路指導。さめ細かな面談、進路講演会や懇談会、学習合宿などを通して一人ひとりの夢の実現をサポートします。

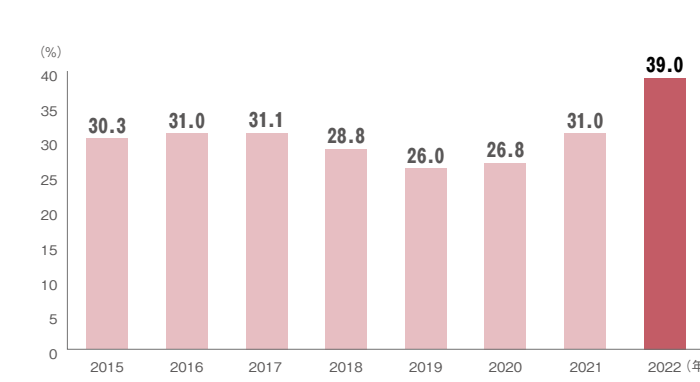
多様な進路を支える

現在、大学入試は一般型選抜を始め、学校推薦型（指定校・公募）、総合型と多様な形式があり、時期も長期にわたります。本校では一人ひとりが希望する入試の課題（小論文、面接、プレゼンなど）に対する力を、ときに個別指導も通しながら伸ばしていきます。なお、今年の卒業生のうち、指定校型の学校推薦型選抜を利用した生徒は26.0%、一般型選抜に臨んだのは54.5%でした。

過去10年進路結果（4年制大学への進学率）



理系進学者の割合



主な4年制大学への合格状況（2022年3月末時点）（人）

大学名	2022年	2021年	2020年
東京農工大学	1		
東京藝術大学			1
北海道大学			1
横浜国立大学			1
神奈川県立保健福祉大学			1
東京都立大学			2
横浜市立大学		1	
青山学院大学	14	8	12
麻布大学	6	7	5
学習院大学	15	8	11
学習院女子大学	4	3	5
北里大学	10	5	6
慶應義塾大学	2	2	4
國學院大學	6	8	2
国際医療福祉大学	3	1	
駒澤大学	2	3	5
芝浦工業大学	1	2	5
上智大学	4	4	5
昭和大学	4	9	6
昭和薬科大学	7	3	2
成蹊大学	3	2	5
聖心女子大学	4	4	5
聖マリアンナ医科大学	1		
聖路加国際大学		1	2
専修大学	9	9	7
中央大学	15	16	15
津田塾大学		1	6
東京女子大学	11	4	6
東京理科大学	2	1	5
東京薬科大学	2	3	6
東洋大学	9	3	10
日本大学	8	13	12
日本女子大学	13	9	21
法政大学	18	22	25
星薬科大学	5	2	2
明治大学	8	9	9
明治学院大学	11	15	14
明治薬科大学	1	1	6
立教大学	19	9	15
立命館大学	1	1	
早稲田大学	2	1	7

2021年度入試主な指定校推薦

大学名	学部・学科	人数
青山学院大学	法学部法学科 等	4
麻布大学	生命・環境科学部環境科学科 等	2
大妻女子大学	社会情報学部社会情報学科環境情報学専攻 等	9
学習院大学	法学部法学科 等	5
学習院女子大学	国際文化交流学部日本文化学科	1
神奈川大学	経済学部経済学科 等	6
神奈川歯科大学	歯学部	若干名
関西学院大学	法学部法律学科 等	1
関東学院大学	国際文化学部英語英米文学科 等	21
北里大学	看護学部看護学科 等	2
吉林大学	総合政策学部総合政策学科 等	3
工学院大学	先進工学部応用化学科 等	8
芝浦工業大学	工学部機械工学科 等	3
上智大学	外国語学部英語学科 等	3
昭和女子大学	国際学部英語コミュニケーション学科 等	3
昭和薬科大学	薬学部薬学科	1
成蹊大学	文学部 等	2
聖心女子大学	全学部全学科	1
清泉女子大学	文学部地球市民学科 等	2
玉川大学	文学部英語教育学科 等	24
中央大学	法学部国際企業関係法学科 等	2
帝京科学大学	医療科学部理学療法学科 等	26
東京女子大学	現代教養学部国際社会科学国際関係専攻 等	3
東京都市大学	建築都市デザイン学部建築学科 等	17
東京電機大学	理工学部理工学科学系 等	5
東京農業大学	農学部農学科 等	9
東邦大学	看護学部 等	2
東洋大学	国際学部国際地域学科 等	2
日本大学	法学部法律学科 等	2
法政大学	文学部史学科 等	3
明治学院大学	心理学部心理学科 等	4
立命館大学	理工学部物理科学科 等	1

本校の指定校は、東京・神奈川の大学だけでも約460名分で、学年在籍数の2倍以上になります。しかし、生徒たちは安易に推薦に頼るのではなく、自分自身の進路希望としっかり向き合いながら、本当に「第一志望」の場合に、推薦という方法を選び取っていきます。指定校推薦を利用する生徒は年によって若干のばらつきがありますが、例年20～40名程度です。

Kanagawaプロジェクト

一人ひとりが「夢をみつける」機会を数多く提供するのが“Kanagawaプロジェクト”。

年次ごとにテーマを設けながら、生徒の視野を広げ、より深い思考力へと導きます。

そうした経験を通して、「社会の中で自分はどう生きていくのか」を見出していきます。

※以下は例年の予定です。2020年、21年はコロナ禍により変更しました。2022年も状況を見ながら実施します。

人と出会い、社会と出会う

本校では、人と出会い、社会と出会う中で自分の生き方を考えることを大切にしています。多くの講演会を設けているのも、社会の第一線の方と出会うことを通して視野を広げることはもちろん、「あんな大人になりたい」「ああいう生き方をしたい」といった、「生き方のモデル」となるような方に数多く出会ってほしいという願いからでもあります。2022年も村木厚子さん（元厚生労働事務次官）、上野千鶴子さん（東京大学名誉教授）を始めとする様々な方にお会いします。

2021年お会いした方

全校	辻村深月さん（作家）
	榊浩平先生（東北大学）
	AUS姉妹校オーミストンカレッジ
中1	五大路子さん（女優）
	暉峻愷三さん（川崎市平和館館長）
	廣瀬由美さん（NPO情報セキュリティフォーラム）
	小森美登里さん（ジェントルハートプロジェクト）
中2	留学生の方々
	五大路子さん（女優）
中3	上野哲路さん（ディジュリドゥ奏者）
	関根摩耶さん（先住民文化研究）
	朴慶南さん（作家・エッセイスト）
高1	藤原昌太先生（鎌倉女子大学）
	留学生の方々
	卒業生（独立行政法人国際協力機構／進路講演）
高2	村瀬幸吉先生（性教育）
	卒業生（進路講演）
高3	崔善愛さん（ピアニスト）
	卒業生（進路講演）



中学 1 年	中学 2 年	中学 3 年	高校 1 年	高校 2 年
①平和	②環境	③多文化共生	④日本の課題	⑤探究
国語「戦争教材」読解 戦争体験レポート 卒業生のお話、戦跡訪問 1 日研修（第五福竜丸展示館など）	理科「生態系」「水の循環」 小網代の森研修 流域レポート	横浜探検 1 日研修 （いちょう団地、東京ジャーミイ、 神奈川朝鮮中高級学校、JICA など） ホームステイシミュレーション 海外研修 （オーストラリア、ニュージーランド）	全体学習 方面学習、レポート作成 国内FW （沖縄、水俣、四万十川、奈良・京都、 岩手・宮城） 校内英語研修（学年参加） ターム留学（希望制）	探究学習（ゼミ形式） 外部調査、文献調査、実験など レポート作成 成果発表会 海外研修（希望制） 学習合宿
“おひとりさま”文化祭		進路講演会・職業を考える会		
音楽会＋文化祭＋各種講演会		文化祭＋各種講演会		

探究／過去のテーマ例	脳死は人の死か
	ブラゴミ問題は解決できるか
	児童労働はなくせるか
	子ども食堂は子どもの貧困問題解決につながるか
	平和教育は必要か
	観光公害は解決できるのか
	殺処分をゼロにすることはできるのか
	人間と野生生物のよい共存方法とは何か
	タケコブターは実現できるのか
	日本が男女平等の国になるためには
	宝塚歌劇団が若年層のファンを増やすためには
	「普通」って何だろう 水俣病の語り部・吉永理巳子さんの人生から考える

希望制行事なども充実

夢を見出す取り組みは“Kanagawaプロジェクト”だけではありません。例えば多文化共生は、6年間を通した取り組みでもあります。そのため、中1で希望制校内英語研修、中2で国内英語キャンプ（全員参加）、高1で校内英語研修、ターム留学（希望制）、高2で希望制海外研修などが準備されています。また、中1では友達との関係を深めるPA研修があったり、高2では学習に特化した「学習合宿」があるなど、多様な取り組みを行っています。



柱は「海外研修」と「国内FW」

“Kanagawaプロジェクト”全体の中で柱となるのは中学3年の「海外研修」と高校1年の「国内FW」。本校では、中高生活の間である「中学3年・高校1年」を特に自分の生き方を見定める時期として、位置づけています。中学3年時のテーマは「多文化共生」、高校1年時は「日本の課題」です。それぞれの取り組みの中心となるのが「海外研修」と「国内FW」。この行事を通して生徒は大きく成長します。

①平和

中学1年のテーマは「平和」です。平和に関する国語教材を読み、本校卒業生の女優五大路子さんによる朗読劇「真昼の夕焼け」を鑑賞します。その後、夏休みに生徒は県内にある戦争の痕跡が残る施設などを訪問し、聞き調べた内容を「戦争体験レポート」にまとめます。さらに川崎市平和館見学や第五福竜丸展示館訪問も含む1日研修へとつながります。

②環境

中学2年は「環境」がテーマ。理科で「生態系」について学んだ後、東京農業大学准教授の矢部和弘先生に講演をしていただき、関東で唯一完結した流水域を持つといわれる小網代の森研修に向かいます。さらに水源と人との関わりを学び、各自で「流域レポート」を作成、夏休み明けに発表会を行います。その後、水再生センターなど、「資源としての水」に目を向けていきます。

③多文化共生

中学3年のプログラムは“Kanagawaプロジェクト”の中でも柱となる内容です。3月の海外研修（オーストラリアとニュージーランドから選択／2022年はオーストラリア方面で実施予定）は、中学生生活の集大成であり、さまざまな取り組みを重ねます。5月には「自分の街を知る」という「横浜探検」、秋には1日研修でさまざまなルーツを持つ方が暮らすいちょう団地や、東京ジャーミイ、神奈川朝鮮中高級学校、JICAといった方面に向かいます。こうした経験を重ね、多文化共生を学びます。実際の海外研修は8日ほどのプログラム。オーストラリア、ニュージーランドともにホームステイを含み、「自立」を一つのテーマとしています。海外研修を終えた生徒は「自信」をつけて一回りも二回りも大きくなって帰国します。

④日本の課題（国内FW）

高校1年の国内FWは日本の抱える課題や矛盾に向き合う取り組みです。11月のFW研修は「沖縄、水俣、四万十川、奈良・京都、岩手・宮城」の各方面を生徒の希望で選びます。その研修に向けて、全体学習、地域学習を重ねていきます。事前学習で平和と基地、人権、環境と過疎、文化財の保護、震災からの復興といった簡単に答えの出ない課題と向き合います。その上で現地での、さまざまな方からのお話を通して生徒一人ひとりが課題に対峙し、自分なりの考えをまとめたレポートを作成します。

⑤探究

高校2年で週1時間で実施する「探究」は“Kanagawaプロジェクト”の総仕上げとなる授業です。高1までの取り組みを通して自分自身が疑問に思ったことやさらに深めたい「問い」を立て、1年間をかけて研究する授業です。授業はゼミ形式で、教員一人あたり生徒14人以下のグループで行われます。グループディスカッションやディベートなども交えながら、1年かけてレポートを完成させます。最後は全員が発表会で発表し、相互評価を行います。

部活動

運動部

	団体名	活動日	部活から一言（例年の活動紹介）
①	器械体操	週3日	体育館にて、ゆか、跳馬、段違い平行棒、平均台など、さまざまな種目に取り組んでいます。初めて取り組む種目や初心者の方も、基礎からしっかり学べます。
②	新体操	週4日	文化祭では部員全員でテーマに合わせた舞台発表を行っています。普段の部活動では団体競技を中心に据え、一体感のある演技の完成と関東大会出場をめざしています。
③	水泳	週4日	夏の大会に向けて年間を通して練習に取り組んでいます。部員一人ひとりが4泳法習得、横浜市入賞、県大会出場、関東・全国大会出場をめざしてチームとして「元気・仲間・感動・成長」を感じながら切磋琢磨しています。
④	ソフトテニス	週4日	雨に強い人工芝のテニスコートで、メンバーで話し合って練習メニューを工夫しながら県大会出場をめざして毎日がんばっています！
⑤	ダンス	週4日	夏には中学・高校とともに大会に出場しているほか、文化祭や春公演に向けて自分たちで作品を作っています。自分たちも楽しめ、お客様にも楽しんでいただけるパフォーマンスをめざしています。
⑥	卓球	週4日	相手の動きを先読みしながらボールを打ち合い、一瞬の判断が勝敗を分けるスピード感あふれるスポーツです。今年度も県大会出場をめざして、部一丸となつてがんばります。
⑦	バスケットボール	週4日	チームでプレーすることを通して、集団で協力することの大切さを学べるのがバスケ部の特徴です。県大会出場を目標に、全員が切磋琢磨しています。
⑧	バドミントン	週4日	中学生は基本的なショットの一つひとつしっかり打つこと、高校生はダブルス、シングルス共にラリーを制することを目指に、練習に励んでいます。
⑨	バトントワリング	週4日	中学・高校に分かれて大会に出場しています。高校生は昨年度全国大会出場を果たし、銀賞を受賞しました。練習は中高合で行い、コミュニケーションを大切にしながらバトンの技術を磨いています
⑩	バレーボール	週4日	中学は県大会、高校は関東大会を目標にしています。一つのボールを皆で大切につなぐことで、一人の力は小さくても皆で大きな力にしています。最後まであきらめない粘り強さと、お互いを尊重する人間力を育てます。
⑪	陸上競技	週4日	陸上競技部は競技力向上を掲げ、より速く・より高く・より遠くに記録を向上させ、先輩たちが実現させてきたより上位の大会への出場を目指して日々ハードな練習に励んでいます。人数は少ないですが、だからこそ質の高い練習とは何か、どのようにお互いを支えあって記録を伸ばしていくのかを考え、小さなチャンスを見逃さない練習を心がけています。

同好会

	団体名	活動日	活動内容
①	漫画研究同好会	週2日	週2日、和気あいあいとした雰囲気の中で活動しています。2ヶ月に1回程度、部誌も発行しています。テーマに沿って、一人ひとりが自分の作品を作ります。

2021年度 運動部 主な活動実績

中 学	バトントワリング	ジャパンカップバトントワリング選抜大会 出場
	水泳	関東中学校水泳競技大会 女子100mバタフライ7位
		関東中学校水泳競技大会出場 女子200m自由形、女子200mバタフライ
		関東中学神奈川県予選会 女子100mバタフライ3位
		神奈川県中学校水泳競技大会 女子100mバタフライ7位
ソフトテニス	神奈川県私立中学校一年生大会 3位	
高 校	バトントワリング	バトントワリング全国大会 銀賞
		ジャパンカップバトントワリング選抜大会 出場
		バトントワリング関東大会 金賞
	陸上競技	関東高等学校陸上競技大会 女子三段跳5位
		神奈川県高等学校新人陸上競技大会 女子100m8位
	新体操	神奈川県高等学校新体操大会 女子団体競技6位
		神奈川県高等学校総合体育大会 女子団体競技6位
神奈川県高等学校女子新体操選手権大会 団体競技6位		

2021年度 文化部 主な活動実績

中学	コーラス	かながわヴォーカルアンサンブルコンテスト小中学校部門 金賞
	書道	かながわ書道まつり書道はがき作品大会 特選
高校	箏曲	全国高等学校総合文化祭（2022年度）出場決定
	写真	全国高等学校写真選手権大会南関東ブロック審査会進出
	コーラス	神奈川県合唱コンクール 高等学校部門Aグループ 金賞
	茶道	かながわヴォーカルアンサンブルコンテスト高等学校部門 銀賞
	茶道	神奈川県高等学校総合文化祭 会長賞
	書道	神奈川県高等学校総合文化祭 特選
	生物	神奈川県高等学校理科部研究発表大会 奨励賞

文化部

	団体名	活動日	部活から一言（例年の活動紹介）
①	ESS	週3日	ネイティブの先生をコーチに、前期は文化祭での英語劇上演に向け、台詞や演技の練習に励んでいます。その他、年間を通して英語でのクッキングや後期はハロウィン、クリスマスなど楽しく活動しています。
②	演劇	週3日	舞台上演じる役者だけでなく、照明や音響、大道具など、一人ひとりが自分に合った特技を伸ばしながら、全員で一つの舞台を作りあげることが大切にしています。
③	華道	週1日	正風流の先生にご指導いただいて、週1回お稽古に励んでいます。文化祭ではさまざまな花材に挑み、日ごろの成果を披露しています。
④	軽音楽	週1日以上	バンドごとに自分たちの好きな曲を選んで、演奏をしています。文化祭の公演を大きな目標に、夏合宿や学内発表会に取り組んでいます。
⑤	コーラス	週4日	女声合唱の美しい響きと豊かな表現をめざして活動しています。毎年コンクールやアンサンブルコンテストに出場し優秀な成績を修めているほか、文化祭や定期演奏会ではダンスやお芝居も取り入れたミュージカルにも取り組み、日々充実した活動を行なっています。
⑥	茶道	週2日	裏千家のお稽古をしています。茶道を通して、美しい立ち居振る舞いも身につきます。文化祭だけでなく年に数回は部内でもお茶会を行っています。
⑦	社会科	週2日	文化祭での展示発表に向けてテーマを決め、調べたり、展示品を作ったりする活動をしています。今年度は「和」をテーマに楽しく取り組んでいるところです。
⑧	写真	週2日	文化祭で展示発表を行い、楽しみながら活動し技術を磨いています。合宿や撮影会を行い、コンテストにも出場しています。
⑨	手芸	週1日	一人ひとりが好きなものを制作しています。外部から講師の先生に来ていただいて、学ぶこともあります。
⑩	書道	週1日	主に文化祭での団体パフォーマンスを中心に活動しています。他にも個人での書道検定や作品展の作品作りにも積極的に取り組んでいます。
⑪	吹奏楽	週4日	「吹いて奏で楽しむ」を部訓とし、吹奏楽はもちろん、アンサンブルにも力を入れて日々活動しており、夏の吹奏楽コンクールへの出場、文化祭やオープンキャンパス等、学内外のさまざまな行事を経て、春には定期演奏会を開催しています。
⑫	生物	週3日	学校内や学校近くの沢渡中央公園にいる生物を研究テーマに活動しています。年数回は校外での研修も行います。
⑬	箏曲	週3日	定期演奏会や文化祭に向けて練習に励んでいます。高校生になると県大会に出場し、全国大会にも何年も連続で出場しています。
⑭	美術	週3日	絵画制作だけでなく、工作やデッサン、イラスト等、さまざまな創作活動を行っています。文化祭でも部としてテーマを決めて、展示空間を創ります。
⑮	フォークギター	週2日	年に3回校内のライブや私学フェスタなどで弾き語り、バンド演奏をしています。学年を超えて一つの音楽を作ることに力を入れています。
⑯	文芸	週1日	詩や物語を書いたり、文豪等について調べたりする活動をしています。詩のコンクールなどにも応募しており、受賞もしています。
⑰	理化	週2日	化学・物理の実験をメインに活動しています。毎年ちがうテーマで研究し、実験を通して科学の世界に触れることができます。
⑱	料理	週1日	スイーツを中心に、ご飯、おかず類など、おいしく簡単にできる料理をめざしています。また食材による違いなどにも取り組んでいます。

✓ クラブ活動は盛んですか？

去年は、バトントワリング部と水泳部が全国大会、コーラス部が関東大会に出場しました。入部は希望制で、入部率は、全校で概ね80%程度です。「平日は少なくとも2日は休み、土日どちらかは休む」のが原則です。最終下校時刻は、年間を通して18時の約束を守りながら、がんばって取り組んでいます。

✓ 文化部の活動などはどこで見られますか？

いちばんのお勧めは、すべての文化部の活動成果をご覧いただける文化祭（9月実施）です。また公演部活は今年は別日実施予定です。展示部活、公演部活ともに毎年ご来校いただいたお客様からとても高い評価をいただいています。この他、2022年度は部活見学日も設ける予定です。詳しくは本校ウェブサイトでご確認ください。

年間行事

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
全校	●始業式 ●ガイダンス ●防災訓練	●創立記念日 ●生徒総会 ●中間考査	●球技大会	●期末考査 ●終業式 ●三者面談 ●夏期講習	●クラブ合宿期間 ●夏期講習	●始業式 ●課題テスト ●文化祭
中学	●入学式 ●始業式 ●ガイダンス ●学力推移調査(1～3年)	●PA研修(1年) ●小網代の森研修(2年) ●横浜探検(3年)				●学力推移調査(1～3年)
高校	●始業式 ●入学集会 ●ガイダンス	●模試(3年)	●模試(3年) ●夢ナビ(1年)	●模試(1～3年)	●海外研修(2年、希望者) ●模試(3年)	●模試(3年)
PTA	●学級PTA		●公開授業、学級PTA			
卒業生	●花と実の会総会					

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全校	●中間考査	●授業公開日	●講演会 ●期末考査 ●終業式	●始業式 ●課題テスト	●中学入試 ●生徒総会	●期末考査 ●終業式
中学	●進学説明会(3年)	●国内英語研修(2年) ●1日研修(1年、3年) ●音楽会(1～3年)		●学力推移調査	●スピーチコンテスト	●海外研修(3年) ●卒業集会(3年)
高校	●選択履修説明会(1、2年) ●模試(3年)	●国内FW(1年) ●学習合宿(2年) ●模試(1、2年)		●特別授業(3年) ●ターム留学(1年)		●卒業式
PTA	●学級PTA(中3～高2)				●公開授業、学級PTA	
卒業生				●新成人を祝う会		

※2021年度は新型コロナウイルス感染対策のため、行事を大幅に変更しています。

□ PA研修(5月)



中学に入学して間もなくの5月の始めに、1日をかけて足柄の森で行われる研修。クラスメイトと協力して、「ミッション」に挑みます。一見簡単そうなミッションは、実は難題ぞろい。一緒にミッションを達成するために、相談したり試行錯誤する中で、友だちの新しい一面が見えてきます。

□ 球技大会(6月)



毎年6月に開催される球技大会は、生徒が中心になって運営する「三大行事」のうちのひとつ。バスケットボール、バドミントン、卓球、ドッジボール(高校生はバレーボール)の4種目に分かれ、各種目の優勝と競技全体の結果で争う「総合優勝」をめざします。全競技終了後の生徒部活チームと先生チームとのエキシビジョンマッチも毎年盛り上がります。

□ 文化祭(9月)



生徒が運営する「三大行事」の一つで、例年6,000～8,000人の方が訪れる本校最大の行事です。中でも特徴的なのはクラスごとに事前研究を重ねて教室を作り上げる「研究発表」。夏休みなどを利用して、大学や企業などの研究機関や専門家にお話を伺い、調査を重ねて展示教室を作ります。もちろん、喫茶や公演も本格的です。

□ 進学説明会・選択履修説明会(10月)



中学3年生、高校1・2年生に向けて、秋に行われるのが「進学説明会」と「選択履修説明会」。本校では、数多くの科目の中から一人ひとりが進路にもっともふさわしい選択ができるよう大幅選択制を採用していますが、個々の夢の実現に向けて適切な科目選択をするために生徒と保護者に向けて学校から説明をする会です。その後、生徒は担任と何度も面談を重ね、進路と科目を選び取っていきます。

□ 音楽会(11月)



生徒が運営する「三大行事」の一つ。11月に、中学生15クラスがそれぞれのクラスで自分たちのクラスに合った曲を選び、合唱を作り上げていきます。歌詞の中身を掘り下げ、解釈を深めながら作り上げた美しいハーモニーが、当日の会場に響き渡ります。高校では、音楽選択者による「発表会」が同時期に行われます。2021年はコロナ禍のため、開催を見送りましたが、2022年度は再開をめざします。

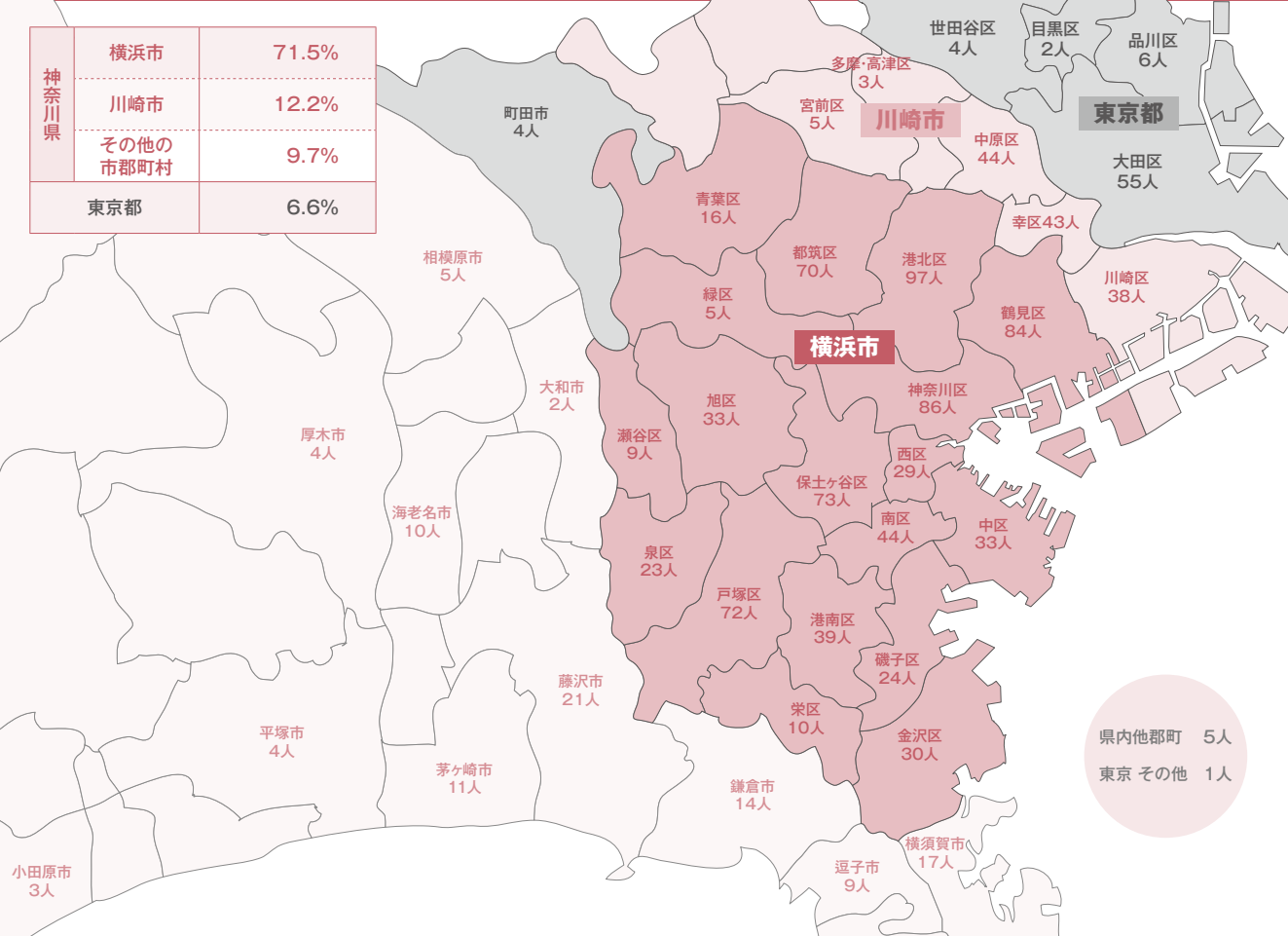
□ 新成人を祝う会(1月)



新成人を本校に招き、同窓会も兼ねた「祝う会」を毎年開催しています。各地域の成人式を終えた卒業生たちが、三々五々集まり夕刻に祝う会が開かれます。例年、当該学年の90%以上の卒業生が学校に戻ってきてくれます。振袖などで美しく着飾った卒業生たちの笑顔があふれ、カフェテリアとシュガーホールがいつになく華やぐ1日です。

各種データ

2022 年度居住区別生徒数一覧



在籍生徒数

	中1	中2	中3	小計	高1	高2	高3	小計
A	34名	40名	37名	558名 (中学生)	37名	36名	35名	528名 (高校生)
B	34名	40名	38名		36名	35名	33名	
C	33名	40名	38名		36名	35名	35名	
D	34名	40名	37名		36名	35名	34名	
E	34名	42名	37名		37名	35名	33名	
全校生徒数：1,086名								

各教科の構成（専任、講師、外国人講師含む）

	国語科	社会科	数学科	理科	英語科	芸術科	保健体育科	技術家庭科	情報科	司書・養護	事務・用務
	16名	13名	13名	10名	20名	9名	7名	5名	1名	5名	9名
専任（男性）	2名	7名	8名	4名	3名	1名	3名		1名	1名	3名
専任（女性）	10名	3名	2名	5名	9名	1名	2名	4名		1名	5名
講師（男性）			1名		2名	1名(1)*					
講師（女性）	4名(1)*	3名	2名(1)*	1名	6名(3)*	6名	2名	1名		3名	1名

*()内、専任と同等の勤務で教科指導に特化した常勤講師

学費・諸費用一覧（2022 年度実績／2023 年度以降変動の可能性があります）

授業料など		学校指定用品など	
入学金	¥250,000	制服（冬用）	¥36,300
施設拡充費	¥150,000	オーバーコート	¥25,000*2
授業料（月額）	¥37,000	制服（夏用）	¥18,480
教育管理費（月額）	¥16,000	制服（冬用／高校）	¥49,900
生徒会入会費	¥1,000	制服（夏用／高校）	¥20,600
生徒会費	¥5,000	トレーニングシャツ	¥6,600
PTA 入会金	¥15,000	トレーニングパンツ	¥5,400
PTA 会費	¥21,600	半袖シャツ	¥2,900
学年費	¥90,000*1	ハーフパンツ	¥3,200
*1：各種副教材、海外研修を除く旅行費、模試費用などを含む。 海外研修費用は別途¥300,000 ほどの見込み。 寄付・学園債などは一切ございません。 *2：印の品は必要に応じてご購入ください。		体育館シューズ	¥4,000
		冬用カーディガン	¥5,900*2
		夏用カーディガン	¥5,700*2
		夏用ベスト	¥5,100*2

花と実の会（卒業生同窓会）

6 年間とともに過ごした友だちとの間には強い絆が生まれます。卒業後もその絆をつなぐのは、同窓会組織「花と実の会」。創立者・佐藤善治郎が「花も実もある人生を」という想いから命名しました。毎年4月29日には「花と実の会総会」が行われ、前年度卒業生を始め、卒業30年目、50年目の卒業生も招待されます。記念ホールがいっぱいになるほどの盛会の中、昔話と近況報告に花が咲きます。また、1月の「成人の日」には「新成人を祝う会」が開催され、毎年90%以上の新成人卒業生が華やかな装いで母校に帰ってきます。



2017 年「花と実の会」総会



萩谷 順さんによる講演会



2020 年「新成人を祝う会」

2023 年度入試 生徒募集要項

一般入試															
日 程		A日程			B日程				C日程						
試験日		2月1日(水)			2月2日(木)				2月4日(土)						
		午前		午後											
募集人数		80名		30名	60名				20名						
試験科目		2科または4科の選択		2科	2科または、3科または、4科の選択				2科または4科の選択						
		【2科】国語、算数 【3科】国語、算数、英語 【4科】国語、算数、社会、理科													
		国語・算数・英語(各50分・100点) 社会・理科(各30分・60点) 3科目型は成績の良かった2科で判定します。													
集合時間		8:30		14:15/15:15		8:30				8:30					
時 程		2科		2科		2科		3科		4科		2科		4科	
		集合	8:30	集合	14:15	集合	8:30	集合	8:30	集合	8:30	集合	8:30	集合	8:30
		国語	8:50~9:40	国語	14:30~15:20	国語	8:50~9:40	国語	8:50~9:40	国語	8:50~9:40	国語	8:50~9:40	国語	8:50~9:40
		算数	10:00~10:50	算数	15:40~16:30	算数	10:00~10:50	算数	10:00~10:50	算数	10:00~10:50	算数	10:00~10:50	算数	10:00~10:50
		4科		2科			英語	11:10~12:00	社会	11:10~11:40		社会	11:10~11:40		
		集合	8:30	集合	15:15		理科	12:00~12:30	理科	12:00~12:30					
		国語	8:50~9:40	国語	15:40~16:30										
		算数	10:00~10:50	算数	16:50~17:40										
		社会	11:10~11:40												
		理科	12:00~12:30												
出願手続		出願期間	1月7日(土)9:00~ 1月30日(月)23:59			1月7日(土)9:00~ 2月1日(水)23:59				1月7日(土)9:00~ 2月3日(金)23:59					
		出願方法	各日程ともインターネット出願 入学志願票・受験票は各日程A4(横)普通紙に印刷し、入学志願票に写真(縦4cm×横3cm)を貼付、またはインターネット出願画面より写真アップロード機能を利用して写真を登録し試験当日にお持ちください。												
		受験料	1回のみ出願:20,000円 複数回を出願の場合:2回目以降各回10,000円 お支払いは、コンビニエンスストア・ペイジー対応金融機関ATM・クレジットカードがご利用いただけます。 ※複数回出願して入学した場合、合格以降の未受験分の受験料は返却します。												
合格発表		2月1日(水)19:00~ 2月2日(木)8:00		2月1日(水)21:30~ 2月2日(木)8:00		2月2日(木)19:00~ 2月3日(金)8:00				2月4日(土)19:00~ 2月5日(日)8:00					
		発表は、本校ホームページ(https://www.kanagawa-kgs.ac.jp/)で行います。 校内掲示は、2月2日(木)~2月6日(月)9:00~16:00													
入学手続		入学金納入	入学金は本校ホームページの入学金納入画面に進み、納入期限までにお支払いください。 入学金 250,000円 納入期限 2月6日(月)16:00 入学金のお支払は、コンビニエンスストア・ペイジー対応金融機関ATM・クレジットカードがご利用いただけます。 受付窓口でのお支払いはできませんのでご注意ください。 ※施設費150,000円は入学後4月に引き落としとなります。												
		受付窓口での手続													
		入学手続完了	入学金納入後にマイページより「支払内容確認書」を印刷のうえ、受付窓口にて下記期間に持参して、 入学書類を受け取り入学手続を完了してください。 2月2日(木)~2月6日(月)9:00~16:00												
		入学辞退	入学手続完了後、2月8日(水)16:00までに辞退された場合、入学金を振り込みにてお返しをします。 ※辞退連絡の受付時間:2月2日(木)~2月8日(水)までの9:00~16:00												
入学準備説明会		2月11日(土・祝日)10:30から本校で行います。													

帰国子女入試		
試験日	12月14日(水)	
募集人数	若干名(一般入試枠と別枠で実施)	
応募資格	海外に継続1年以上滞在し、帰国後3年以内の児童 ※児童の海外での在籍校については問いません。海外滞在期間が上記に若干満たない場合はご相談ください。	
試験科目	[国語・算数・面接]に加え、[英語]または[作文]のいずれかを選択 ※英語は英検準2級程度の出題・作文は自分の経験に基づく出題で、知識問題ではありません。	
集合時間	8:30	
試験時間	国語(50分/100点)	8:45～9:35
	算数(50分/100点)	9:50～10:40
	英語(筆記40分・リスニング10分程度) または作文(50分/100点)	10:55～11:45
	面接(各10分～15分/30点) ※保護者同伴	12:00～ ※時間は個別に連絡します。
出願 手続	出願 期間	12月1日(木)9:00～12月12日(月)23:59
	出願 方法	インターネット出願 ①入学志願票・受験票はA4(横)普通紙に印刷し、入学志願票に写真(縦4cm×横3cm)を貼付、 またはインターネット出願画面より写真アップロード機能を利用して写真を登録し試験当日にお持ちください。 ②海外の学校の在籍を証明する書類(在留証明書、通知簿写しなど)を試験当日にお持ちください。
	受験料	20,000円 お支払いは、コンビニエンスストア・ペイジー対応金融機関ATM・クレジットカードがご利用いただけます。
合格発表	12月14日(水)17:00～12月15日(木)8:00 発表は、本校ホームページ(https://www.kanagawa-kgs.ac.jp/)で行います。	
入学 手続	入学金 納入	入学金は本校ホームページの入学金納入画面に進み、納入期間内にお支払いください。 入学金 250,000円 納入期間 2月2日(木)～2月6日(月)16:00
	↓ 受付窓口 での手続	入学金のお支払いは、コンビニエンスストア・ペイジー対応金融機関ATM・クレジットカードがご利用いただけます。 受付窓口でのお支払いはできませんのでご注意ください。 ※施設費150,000円は入学後4月に引き落としとなります。
	↓ 入学手続 完了	↓ 入学金納入後にマイページより「支払内容確認書」を印刷のうえ、受付窓口にて下記期間に持参して、 <u>入学書類を受け取り入学手続を完了してください。</u> 2月2日(木)～2月6日(月)9:00～16:00
	入学 辞退	入学手続完了後、2月8日(水)16:00までに辞退された場合、入学金を振り込みにてお返しをします。 ※辞退連絡の受付時間：2月2日(木)～2月8日(水)までの9:00～16:00
入学準備 説明会	2月11日(土・祝日)10:30から本校で行います。	

2022 年度入試 データ

2022年度入試 応募者数・受験者数・合格者数								
日 程	A 日程			B 日程			C 日程	
試験日	2月1日(火)			2月2日(水)			2月4日(金)	
	午前		午後					
科 目	2 科	4 科	2 科	2 科	3 科	4 科	2 科	4 科
募集人数	80 名		30 名	60 名			20 名	
応募者数	43 名	88 名	225 名	48 名	9 名	153 名	43 名	112 名
	131 名			210 名			155 名	
倍 率	1.6		7.5	3.5			7.8	
受験者数	41 名	82 名	213 名	27 名	7 名	90 名	17 名	36 名
	123 名			124 名			53 名	
合格者数	30 名	68 名	134 名	14 名	6 名	75 名	12 名	30 名
	98 名			95 名			42 名	
実倍率	1.3		1.6	1.3			1.3	

2022年度入試 合格者得点																		
日 程		A 日程					B 日程			C 日程								
試験日		2 月 1 日 (火)					2 月 2 日 (水)			2 月 4 日 (金)								
		午前		午後														
得 点		平均点	最高点	平均点	最高点	平均点	最高点	平均点	最高点									
国語 (100)		63.6	91	71.6	91	59.5	83	65.9	86									
算数 (100)		60.1	90	67.1	92	62.0	95	57.6	84									
英語 (100)							81.3	95										
社会 (60)							41.1	57				40.1	54	41.5	50			
理科 (60)		34.8	51				31.5	45	32.8	45								
合格者平均		2 科			2 科			2 科			2 科							
		平均点	最高点	最低点	平均点	最高点	最低点	平均点	最高点	最低点	平均点	最高点	最低点					
		123.7	171	101	138.7	178	121	124.7	170	99	123.6	158	102					
		4 科						4 科			4 科							
		平均点	最高点	最低点				平均点	最高点	最低点	平均点	最高点	最低点					
		198.0	249	156				195.7	242	158	202.3	244	163					
国語 (100)		61.0						66.5			55.1			60.7				
算数 (100)		54.6			58.4			56.0			52.5							
英語 (100)							76.0											
社会 (60)							39.0						36.9			37.9		
理科 (60)							33.1						29.4			29.5		

入試に関するご質問

インターネット出願のみですが、パソコン操作が苦手です。



例年、ご心配をお寄せいただくこともあります。本校サイトの「出願の流れ」をご案内したり、秋の説明会で出願方法の説明などをさせていただいたりすることで、ご不安はかなり解消されるようです。また、プリンターをご利用になりたい場合には学校で用意しております。さらにご不明な点などは学校、あるいはシステムに関する専用回線でご説明しています。

午前入試の2科・4科選択制では、どのように合格判定を行っているのですか？



まず全受験生の国語・算数の2科目合計点で全体の約85%の合格者を決めます。その後、15%を、国語・算数では合格圏内に入らなかった4科受験生の、4科目合計点の上位者から合格とするという2段階の方法で選考しています。A日程(午後)は2科受験のみの方式ですので、2科合計点で合格者を決めます。

複数回出願のメリットはありますか？



各日程の可否判定は独立して行いますが、例えばA日程で「ボーダーより少し下」、B日程でも「少し下」という場合は、「合格者と同等の成果を上げている」と判断をし、合格としています。その幅は、ボーダーから5点が目安です。この措置は、午前・午後の4回の入試のうち、どの回に対しても適用しています。

入試に関するご質問

A日程(午後)の14:15の回と15:15の回は何が違うのですか？



違いはありません。問題も同じで、判定も一緒に行います。2回の回を設けているのは、受験生の方の便宜を考えてのことです。例えば午前にも本校を受験された方は、早い時間に行われる14:15の回をご利用いただき、他校受験などで午後の早い時間にご来校が難しい方は15:15の回をご利用いただければと考えます。

ボーダーラインはどのぐらいですか？



例年、国語・算数の2科目の最低点が55%（200点満点で110点）程度になることを目安に作問をしています。実際には、年によって多少前後することはありますが、まずは55%をめざしてください。なお、各日程の問題形式・問題レベルは変えていません。

帰国子女ですが、英語圏に滞在したわけではないのですが？



帰国子女入試は、グローバル化と多様性が叫ばれる現代において、学年全体に帰国子女の方の海外経験を刺激と視野の広がりとして波及させる意図を持って実施しています。英語圏の方のみ募集しているわけではないのはそのような理由からです。英語の試験は英検で準2級程度を目安にしてください。作文は、個々の経験に基づくテーマで出題します。